

た。しかし、メフロキンは長期使用に対し多くの警告が与えられており、かつ、予防投薬によりメフロキン耐性株の出現を助長することから、その様な使用は絶対に避けたい。メフロキンの使用が無効になった場合、現在我々はキニーネに戻るしかなく、多量のキニーネを一週間に渡って服用するという処方を使わなくてはならなくなる。現在メフロキンを代替できる新薬開発が成功していない以上、今ある最高の薬剤の効果を持続させることが衛生管理の基本の一つと考える。また、マラリアに感染するだけでも大きな危険であるのに、さらに倍加されるであろう毒成分に頼ることは、その危険の大きさを相乗する。

次回はキニーネ、プリマキン等の薬剤の紹介と、マラリアの生物学・病理学に進み、生活習慣に取り入れるべき項目について述べる。

図書紹介.....

◎ゴムノキの加工と利用 (Rubberwood Processing and Utilization, HONG LAY-THONG·SIMHEOK-CHOH 編, 1994, 248 pp., Forest Research Institute of Malaysia, Kuala Lumpur, 邦貨 4,300 円)

ゴムノキは約 25 年で更新される。更新にともなって生じた伐倒木は、かつては燃料や木炭が主な用途であった。しかし、良質天然木の減少や、環境に優しい再生可能な木材という観点から、その資源に注目が集まり、加工技術の進歩にともなって、今日では、家具や建築に広く利用されるようになった。

本書は、長年この加工利用に携わってきたマレイシア森林研究所の研究者がまとめたものである。資源量、丸太生産、組織構造、強度、耐久性、製材、乾燥、機械加工、接着、塗装、合板、パーティクルボード、MDF、ブロックボード、セメントボード、紙パルプ、木炭について 18 の章にわけ、89 の図と 65 の表を使って記述している。94 年の初版はすぐ売り切れたため、今回ミスプリントを訂正して第 2 版が出版された。(峯村伸哉)